

2018年秋季年末闘争・組織拡大

2018年10月22日/第9号

**CTG**の**建交労道本部闘争速報**

〒060-0909 札幌市東区北9条  
東1丁目北海道労働センター2F  
TEL011-711-7377  
FAX011-711-7388  
e-mail/kenkoro-do@nifty.com

# 学童保育の明日をつくる道南のつどい

## 中央本部・角田委員長を迎えて 父母・指導員など25人が参加

10月21日、函館で「学童保育の明日をつくる道南のつどい」が開かれ、学童保育の父母・指導員など25人が参加しました。建交労にまだ加入していない函館や北斗の指導員の参加もありました。つどいは建交労函館支部の深浦委員長の司会ですすめられ、はじめに主催者を代表して全労連・函労会議の佐々木議長があいさつしたあと、建交労中央本部の角田季代子委員長が講演しました。また、建交労道本部の俵書記長が、5月におこなった道南の「自治体キャラバン」について報告しました。

角田委員長は、建交労全国学童保育部会のあゆみを動画で紹介したあと「いま学童保育をめぐる追い風と向かい風が吹いている」と、学童保育の基準が示され処遇改善事業などが予算化される一方、自治体の一部から基準緩和を求める意見が上がっていることを紹介し、自治体に働きかけて制度を活用することと、提案型の運動で学童保育をよりよいものにするために父母と指導員がいっしょになり地域の合意をつくることを強調しました。そして、施設に関する基準や職員に関する基準、運営に関するマニュアルをまとめていることを紹介しました。

参加した父母や指導員から「古くて狭い建物を借りて学童保育をやっている」「事件や事故がおきたときに父母会が責任をもてるのか不安だ」「若い指導員の先生にいろいろ求めると辞めてしまって複数体制がとれなくなるのではないかと悩んでいる」「子どもたちが安全・安心に過ごせて健やかに成長してくれることが願いだ」などの意見や質問が出されました。角田委員長からは「公設というなら学校の空き教室ではなく敷地内や公有地に独立した建物を建てるほうがいいし、それが地域で活用できる施設にもなるのではないか」「指導員としての仕事への向き合い方を話し合い、いっしょに悩みを出し合うことが大事だ」などのアドバイスがありました。

## 北海道鉄道本部が年末一時金要求提出

北海道鉄道本部は、10月18日にJR北海道に対し年末一時金要求書を提出しました。要求は「基準内賃金の4か月分」です。

### 燃料手当・寒冷地手当と年末一時金闘争の報告を

各職場組織（支部・分会）の燃料手当・寒冷地手当闘争と年末一時金闘争の報告（要求内容・要求提出日/回答内容・回答日/妥結内容・妥結日）をお願いします。

## 戦争させない！総がかり行動

10月19日、札幌で「戦争させない！総がかり行動」がおこなわれ、安倍首相が臨時国会に「改憲案」を出そうとしていることに抗議し、市内をデモパレードして市民に訴えました。